

授業計画（シラバス）

■科 目	<h1 style="margin: 0;">化 学</h1>	■講師名 鈴木 勝彦
I 部 1 学年	中期	8 コマ (1 コマ 90 分授業)
		総時間 15 時間
		講義 1 単位
■学修概要 化学は、物質の性質、構造、変化に関する学問であり、続いて学ぶ生化学、生理学、薬理学等の基礎知識となる。化学を習得することにより、続いて学ぶ学問における理解の度合いが大きく高まる。		
■授業目的、到達目標 化学の本質を理解し、身の回りの物質や物質によって引き起こされる様々な事象について化学的に説明できる素養を養うと同時に、生体を構成する物質、生体に機能する物質等について学ぶ基礎を得る。		
■授業方法 講義		
■教科書（書籍名・出版社） 歯科衛生学シリーズ／化学 医歯薬出版		
■成績評価・講義上の注意 定期試験、レポート、授業への積極的参加・態度（予習・復習に基づく質問等）		
■実務経験 大学で生物学を専修、その後、生化学講座で筋タンパク質、栄養・生化学の研究室で栄養代謝の研究に携わった。教育活動は、生化学、運動生化学、生化学実験実習、スポーツ栄養学、公衆衛生などの領域、看護系の大学や専門学校では生化学、栄養学、人間生物学の講義を担当してきた。これらの研究・教育活動において、化学の基礎の必要性と重要性を体験してきた。		
■授業計画（講義の流れ）		
		[] は、教科書各章の項目
1	物質とは 化学結合とは	[分子・原子・電子 レジン接着剤 歯垢の付着]
2	気体とは	[温度の表示 炭酸ガス・京都定義書]
3	水に溶けるとは	[歯垢染色剤で赤く 富士山で米を炊く 雪道に塩]
4	酸とアルカリ	[酸性雨 梅干しはアルカリ性食品]
5	酸化還元 化学反応	[歯の詰め物が黒くなる むし歯で歯が溶ける]
6	有機化合物	[オゾン層とラジカル反応 熱可塑性樹脂・熱硬化性樹脂]
7	ヒトをつくるものは	[水 元素 糖質 脂質 タンパク質]
8	定期試験、解答解説	